

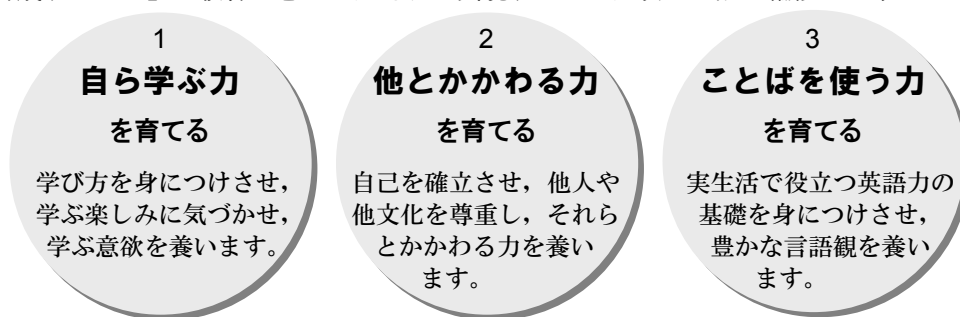
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-21	中学校	外国語	英語	1年, 2年, 3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	730 英語 830 930	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1・2・3		

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、「英語教育を通して、確かな学力、豊かな心と、地球市民（世界市民）としての資質を備えた人間を育成すること」を教育理念とし、それを具現するため、次の3点を編修の基本としました。



2. 編修の基本方針

教育基本法に掲げる目標を達成するために、次の7点を編修の基本方針としました。

- ① **質・量の充実**：時間数の増加にとめない、質・量ともに充実を図る。
- ② **小中の接続**：小学校外国語活動の内容を踏まえ、円滑な小中の接続に配慮する。
- ③ **4技能のバランスを重視した言語活動の充実**：
英語でのコミュニケーション能力を総合的・統一的に育成できる言語活動を配置する。個に応じた能力の伸長や創造性の発揮を目指す活動内容にし、仲間と協力しながら展開できるようにする。
- ④ **自ら学ぶ力の育成**：生徒たちの学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるよう、教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどをわかりやすく提示する。
- ⑤ **教えやすさ・学びやすさを追求した教科書構成**：
基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を実生活で活用できる力を繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥ **生徒の知的欲求に応える題材（思考力・判断力・表現力・他とかかわる力の育成）**：
英語の文章を読んだり聞いたり、ことば・伝統文化・人間・社会・自然、防災などについて考えたり、多くの人と英語でかかわる経験をする中で、幅広い知識・教養を身につけ、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮する。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、尊重できる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を発信できる力を備えた地球市民（世界市民）の資質を培う内容にする。
- ⑦ **資料の充実**：学習内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、巻末付録を充実させる。

全体の構成

●構成

全体を本編と付録に分け、さらに本編を本課とサブの単元に分け、それぞれの役割を明確にしました。

本編

メインとなる単元(本課)

Lesson

英語の文のしくみを理解して、それらを使って読んだり、表現することを学ぶ

技能や役割を特化した単元(サブ)

Let's Talk 話す

買い物・電話・道案内など日常的な場面の会話を練習

Let's Listen 聞く

ニュースやアナウンスなど身近な場面の中の英語を聞き取る

Let's Read 読む

物語やノンフィクションなど、読む活動を深める

For Self-study 自学

自学自習のヒント

Get Ready 小中接続

Lessonに入る前に、英語に慣れ親しむ

Words & Sounds 語彙

基本的な単語について、音を楽しみながら学ぶ

付録

●本編理解のための参考資料

- ・つづりと発音
- ・数の表現
- ・会話表現 など

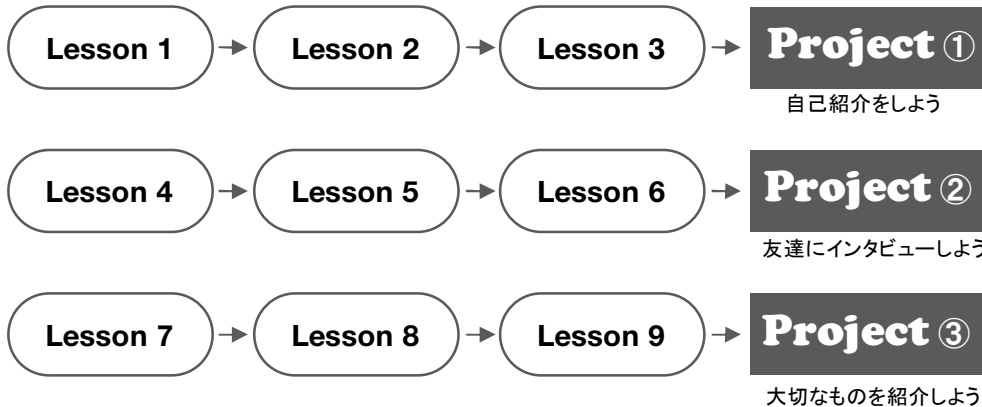
●補充・深化のための教材

- ・Further Reading
- ・いろいろな単語
- ・不規則動詞活用表
- ・Songs など

●配列

本編では、いくつかの Lesson で学んだ言語材料や言語活動を生かして展開する、統合的な活動としての Project を、各学年3カ所配置しています。

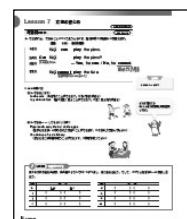
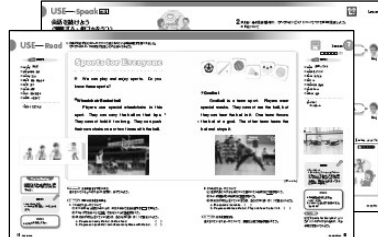
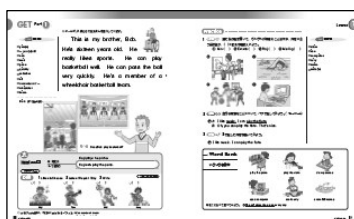
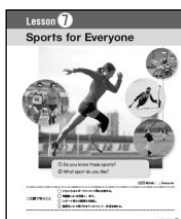
1年の例



* Lesson と Lesson の間には、適宜サブの単元を配置しています。

各 Lesson の基本構成

各 Lesson を、大きく4つのパートに分け、学びのプロセス、指導のプロセスが見えやすくなるように構成しました。

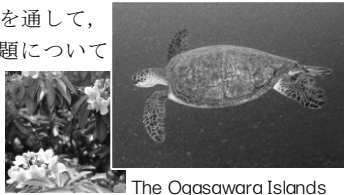


3. 対照表

特に意を用いた点や特色／該当箇所 (L…Lesson, LR…Let's Read, FR…Further Reading)	
題材	<p>① 取り扱う題材は、生徒の知的欲求に合致するものを選択しました。(第1号)</p> <p>Lesson, Let's Read, Let's Talk など</p> <p>(例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1年L7 Sports for Everyone (いろいろなスポーツについて 関心を高める)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2年L7 Presentation (通信手段とコミュニケーション について考える)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3年L1 My Favorite Words (ことばの持つ力について 関心を高める)</p> </div> </div>
	<p>② USE Read, Let's Read などの読み物においては、中学生の感性に訴える作品を配置しました。(第1号)</p> <p>1年生</p> <p>LR Alice and Humpty Dumpty (イギリスの児童文学『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』の場面を通して、イギリスの文化にふれる)</p> <p>付録FR1 Little Mouse Wants an Apple (それぞれの個性を生かすこと、協力することの大切さに気付く)</p> <p>2年生</p> <p>L2 Peter Rabbit (イギリスの児童文学『ピーターラビット』の物語にふれる)</p> <p>LR1 A Pot of Poison (日本の伝統芸能の『附子』のおもしろさを再発見する)</p> <p>付録FR1 Zorba's Promise (約束を守ることの大切さや、それぞれの生き方を尊重することを学ぶ)</p> <p>3年生</p> <p>L4 The Story of Sadako (折鶴にこめられた思いと平和について考える)</p> <p>LR1 Dolphin Tale (ケガをしたイルカを救った少年の成長の物語にふれる)</p> <p>LR2 We Can Change Our World (創意工夫や社会貢献について関心を高める)</p> <p>LR3 The Story of Nishikori Kei (世界で活躍するテニスプレーヤー、錦織圭選手の思いにふれる)</p> <p>付録FR1 A Vulture and a Child (世界の問題について関心を高める)</p> <p>付録FR2 Jimmy Valentine (人生の岐路に立ったときの決断について考える)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>Alice and Humpty Dumpty</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>A Pot of Poison</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>We Can Change Our World</p> </div> </div>
	<p>③ キャリア教育(第2号), 平和教育(第5号), 科学教育・環境教育(第4号), 生命の尊重(第4号), 正義と責任(第3号), および国際理解教育に結びつくものとして, わが国の伝統文化や他国の文化を扱ったもの(第5号)を配置しました。</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>自分の将来について考える(第2号)</p> <p>2年L6 My Dream (自分の将来像や将来の夢について考える)</p> <p>3年L7 English for Me (英語と自分のかかわりについて考える)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">My Dream</p> </div> <div style="flex: 1;"> <p>平和を考える(第5号)</p> <p>2年LR2 Landmines and Aki Ra (カンボジアで地雷除去作業を続けるアキ・ラーさんの半生を通して, 平和と社会貢献について考える)</p> <p>3年L4 The Story of Sadako (広島で被爆した佐々木禎子さんの生涯を通して, 折鶴にこめられた思いと平和について考える)</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>The Story of Sadako</p> </div> </div> </div>

科学・環境に関心を持つ(第4号)

- 1年L4** Field Trip
(身近な自然とのかかわりに関心を持つ)
- 2年L3** The Ogasawara Islands
(ウミガメの話を通して、自然環境の問題について考える)



The Ogasawara Islands

生命の尊重(第4号)

- 3年LR1** Dolphin Tale
(少年とケガをしたイルカの交流の物語を通して、生命の尊さについて考える)



Dolphin Tale

正義と責任(第3号)

- 3年L6** I Have a Dream
(キング牧師の生涯を通して、アメリカの公民権運動について知り、人権の大切さを考える)
- 3年付録FR1** A Vulture and a Child
(1枚の写真を通して、報道と倫理のあり方を考える)



I Have a Dream

日本の伝統文化(第5号)

- 1年L2** My School
(日本の伝統文化について関心を高める)
- 1年L9** Four Seasons
(日本の身近な季節の行事について関心を高める)
- 2年L4** Enjoy Sushi
(日本の食文化について関心を高める)
- 3年L3** Rakugo Goes Overseas
(日本の伝統文化およびそれを世界に発信することについて関心を高める)



My School



Enjoy Sushi



Rakugo Goes Overseas

他国の文化(第5号)

英語を母語とする地域のみならず、英語を第二言語・外国語として使用する地域についても扱っています。

- 1年L6** My Family (イギリスの文化について関心を持つ)
- 1年L8** School Life in the USA
(アメリカの学校の様子や中学生の日常について関心を持つ)
- 2年L1** Aloha (ハワイの伝統文化フラについて知る)
- 2年L5** Uluru (旅の楽しさと地域文化を尊重することについて考える)
- 2年L8** India, My Country
(多言語の国や人・ことば・社会の結びつきについて関心を高める)
- 3年L2** France — Then and Now
(フランスと日本の文化交流について知る)
- 3年L5** Places to Go, Things to Do
(世界のさまざまな国・地域について知る)



School Life in the USA



Uluru

言語活動

① 各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにしました。(第2号)

USE Speak, USE Write, Project

●自己紹介や自分の将来の夢の発表などの自己表現、クラスリサーチのプレゼンテーションや、即興会話など多彩な活動を用意し、個性豊かなアウトプットを促します。

USE Speak (発表)

USE Speak (会話)

USE Write












自己紹介や将来の夢を伝えるプレゼンテーションを作成し、クラスで発表する。

Project

大切なものを紹介しよう

USE Write

Project

	<p>② ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるよう配慮しました。(第3号)</p> <p>Practice, USE Speak, USE Write, Project, Let's Talk</p> <p>●ペアやグループでの活動を随所に配置しています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2 Speak 好きなことについて、ペアで話してみよう。(◎ Word Bank)</p> <p>◎ A: I like <u>reading comic books</u>. I enjoy <u>taking pictures</u> too. How about you, Koji?</p> <p>B: I like <u>taking a walk</u>. I enjoy <u>playing cards</u> too.</p> </div> <p>2年 Lesson 4 GET Practice より</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2 クラスやグループで協力して、ボランティアに申し込む自己紹介カードを書く練習をしよう。 (1) 「イベントでしたいこと」「アピールする経験」「できること」を書き出そう。</p> <p>(2) (1)で書き出したイベントでしたいことから1つ選んで、話合ってメモを作ろう。</p> <p>Step 1 イベントでしたいこと</p> <p>Step 2 日本語でメモを作る</p> <p>Step 3 日本語のメモから項目を選び、英語でメモを作る</p> <p>Opening イベントでしたいこと</p> <p>自分の経歴</p> </div> <p>3年 Lesson 2 USE Write より</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">登場人物</p>	<p>主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮しました。(第3号, 第5号)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">         </div> <p>田中久美 (日本) 加藤 健 (日本) エマ・シモンズ (オーストラリア) ポール・グリーン (アメリカ) ラージ・シュクラ (インド) ヤン・メイリン (中国) ブラウン先生 (イギリス) 丘先生 (日本)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">構成</p>	<p>教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮しました。(第2号)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>■とびら</p> <p>各 Lesson のとびらには、学習のめあてとして、「この課で学ぶこと」を配置しました。</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>■For Self-study</p> <p>自学自習のポイントがわかるコーナーを配置しました。</p>  <p>1年 単語を覚えよう</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>■What Can I Do? (CAN-DO リスト)</p> <p>巻末に自分の力を確認できるCAN-DO リストを配置しました。</p>  </div> </div>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

- カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、また、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました。
- 特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な生徒への配慮と対応をしています。

▶ 識別しやすい配色、文字・イラストと共に示したアイコン



▶ 学ぶエリア・ポイントを明確にしたページデザイン



②環境にやさしい教科書づくり

- 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-21	中学校	外国語	英語	1年, 2年, 3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	730 英語 830 930	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1・2・3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 言語活動の充実

(1) GET と USE

「GET」では、聞く・話す・書くことを繰り返し練習して基礎を習得し、「USE」では、読む・話す・書く活動を通して基礎的な力を活用します。

(2) USE Speak **発表** **会話**

話す活動を、スピーチのように聴衆に話す「発表」型とペアでやりとりをする「会話」型の2つに分け、それぞれに応じた指導ができるようにしました。

(3) Small Steps

大きな目標に向かって取り組むことができるよう、活動を細分化しました。

モデル文の作成プロセスや文章構造を分析 → グループやクラスで実作 → 自力で実作

(4) Tips for Speaking / Tips for Communication / Tips for Writing

効果的な表現を促す、発表・会話の仕方、書き方のヒントを提供します。

(5) Let's Listen / Let's Talk / Let's Read

目的をもった聞く・話す・読むことの活動をできるように、独立したサブ Lesson を配置しました。

② 読むことの指導の明確化

(1) 段階的な読み

段階的に何度も読むことで、概要・要点をとらえながら読む力を育てます。

(2) テキストタイプを意識

テキストタイプを物語文・意見文・説明文に分類し、それに応じたタスクのバリエーションをこころがけました。

(3) Tips for Reading 深い読みを促す、読み方のヒントを提供します。

(4) Think 文章から学んだことや自分の考えを整理し、考える力を育てます。

③ ふり返りと繰り返しの強化

(1) Review Lesson を超えた既習文法事項を整理するコーナーを適宜設け、言語材料のふり返りを促します。

(2) Project 既習の言語材料の知識や言語活動の技能を活用しながら統合的に取り組む活動を、複数の Lesson のあとに配置しました。

④ 自律的学習の支援

(1) For Self-study 辞書の引き方・活用の仕方、英語の学習法など、自学自習のヒントを提供し、自律的な学習者の育成を支援します。

(2) What Can I Do? (CAN-DO リスト)

巻末に、該当学年でできるようになってほしいことのリストを示し、生徒が自分の学びをセルフチェックできるようにしました。

(3) いろいろな単語(付録)

生徒の豊かな表現を引き出す、言語活動で活用できる語句のリストを収録しました。

(4) 会話表現(付録) 会話をつなげるための表現のリストを示し、言語活動で活用し、スムーズなコミュニケーションを促します。

(5) 発音とつづり 「発音とつづり」(1年)、脚注の「♪」、Soundsなどで、発音とつづりの関係を意識させ、音読の力をブラッシュアップさせます。

(6) 文字指導(1年) Get Ready や付録で文字指導の充実を図りました。

2. 対照表

	構成・内容 (■=Lesson ●=サブ ◆=1年 Get Ready ◎=付録, その他)	学習指導要領の内容
聞くこと	<p>◆Get Ready①② 小学校で慣れ親しんだあいさつ・買い物などの会話や、自己紹介を聞きます。</p> <p>◆Get Ready③～⑤ アルファベットの音を確認し、英語の音とつづりに親しむ活動をします。</p> <p>■聞いてみよう 小学校で慣れ親しんだ身近な内容の会話を、文法・文構造への気づきを得ながら、聞き取りをします。(1年 L1-3 のみ)</p> <p>■Drill ターゲットとなる文法・文構造を含む単文(基本文)の聞き取りをします。</p> <p>■Practice 簡単な文脈の中でターゲットとなる文法・文構造を含む文の聞き取りをします。</p> <p>■Sounds 英語らしい音 韻律、音変化などの聞き取りの練習をします。</p> <p>■USE Speak <u>会話</u> 相手に内容を確認しながら、会話を続けていく練習をします。</p> <p>■USE Speak <u>発表</u> モデルの発表の音声を確認し、その技術を学びます。</p> <p>●Let's Listen 身近な実生活の場面での、まとまった分量の英語の聞き取りをします。</p> <p>●Let's Talk 実生活の中での身近な場面での会話を聞き取ります。</p>	<p>ア聞くこと (オ) (ア) (イ) (イ) (イ)(ウ) (ア) (ウ)(エ) (ア)(オ) (イ)(オ) (ウ)(エ)</p>
話すこと	<p>◆Get Ready② 小学校で慣れ親しんだ表現を使って、簡単な自己紹介をします。</p> <p>■話してみよう 基本文を使いながら A・B 程度の簡単なやりとりの練習をします。(1年 L1-3 のみ)</p> <p>■Drill ターゲットとなる文法・文構造を含む単文を話す練習をします。</p> <p>■Practice 簡単な文脈の中でターゲットとなる文法・文構造を含む文のやりとりを練習します。</p> <p>■Sounds 発音とつづり つづりと発音の関係を意識しながら単音レベルの発音練習をします。</p> <p>■USE Speak <u>会話</u> 身近な話題について、つなぎ言葉を使いながら会話を続ける練習をします。</p> <p>■USE Speak <u>発表</u> スピーチやプレゼンテーションをしたりしながら、話す練習をします。</p> <p>●Let's Talk 「買物」「電話」「道案内」など、実生活の中での身近な場面での会話を練習します。</p> <p>■♪(脚注) 本文中の語句や文に関して、音読のヒントを提示しています。</p>	<p>イ話すこと (イ) (イ) (イ) (イ)(ウ) (ア) (イ)(エ) (イ)(ウ) (オ) (イ)(エ)</p>
読むこと	<p>◆Get Ready③④ アルファベットの文字を認識し、つづり字と発音を結びつける初歩的な練習をします。</p> <p>■GET-本文 ターゲットとなる文法・文構造を含む簡単なモノログおよびダイアログを、黙読または音読します。</p> <p>■USE Read 一定のまとまりのあるさまざまなタイプの長文(物語文、意見文、説明文など)を読む練習をします。</p> <p>●Let's Read 一定のまとまりのある物語文を、楽しく読みます。</p> <p>◎Further Reading 読む活動の補充・深化のため、さまざまなタイプの英文を用意しています。</p>	<p>ウ読むこと (ア) (イ) (イ)(ウ) (エ)(オ) " "</p>
書くこと	<p>◆Get Ready③⑤ アルファベットの文字や簡単な単語を書く初歩的な練習をします。</p> <p>■書いてみよう 基本文を使った単文レベルの文を書く練習をします。</p> <p>■Drill ターゲットとなる文法・文構造を含む単文を書く練習をします。</p> <p>■Practice 話す活動でやりとりした内容を 1～2 文で書く練習をします。</p> <p>■USE Read 「Think」のコーナーで、読んだ内容について考えたことなどを書きます。</p> <p>■USE Write メールやエッセイなどさまざまなタイプのまとまりのある英文を書く練習をします。</p>	<p>エ書くこと (ア) (ア)(イ) (ア)(イ) (イ)(ウ) (ウ) (エ)(オ)</p>
統合	<p>●Project 直前の複数の Lesson の言語活動をまとめる形で、各学年 3 か所、技能統合型の活動を配置しました。</p> <p>■USE Speak <u>発表</u>/Write Small Steps の過程で統合的な活動になります。</p>	<p>ア聞くこと イ話すこと ウ読むこと エ書くこと</p>
言語活動の取扱い	<p>* 学習指導要領で例示された場面について、各単元で取り扱うよう適切に配置しました。(→カリキュラム表参照)</p> <p>* 各 Lesson の言語活動では、当該の言語材料が効果的に使われるよう配慮して、それらの定着を図るとともに、使用場面を明確に提示し、場面に応じた表現の練習ができるように配慮しました。</p> <p>* Let's Talk では、電話、買物、道案内などの場面やはたらきを各学年で扱い、前学年の学習内容を発展させ、累進性を意識しました。</p> <p>* さまざまな学習形態の言語活動を配置し、多彩な授業展開が可能です。</p>	<p>言語活動の取扱い ア、イ 3 指導計画の作成と内容の取扱い (1)(1)キ</p>

音声	<ul style="list-style-type: none"> ■ Sounds 発音とつづり つづりと発音の関係を意識しながら単音レベルの発音練習をします。 ■ ♪(脚注) 本文中の語句や文に関して、音読のヒントを提示しています。 ● Sounds 英語らしい音 強勢、イントネーション、音変化、区切りなどの聞き取りの練習をします。 ◎ つづりと発音 発音とつづりの関係を表にまとめました。 	<p>ア音声</p> <p>3 指導計画の作成と内容の取扱い (1)(1)ウ</p>
文字	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Get Ready③④⑤ アルファベットの大文字・小文字について練習します。 ◎ 英語の文字 読みやすい文字を書くために、形に意識を向けたヒントを掲載しています。 ◎ 英語の筆記体 筆記体を提示しています。 ◎ ローマ字 ヘボン式のローマ字表と表記の注意点について掲載しています。 ◎ いろいろな符号 本文中に登場する各種符号について解説しています。 	<p>イ文字及び符号</p> <p>3 指導計画の作成と内容の取扱い (1)(1)エ</p>
単語・表現	<ul style="list-style-type: none"> ■ Word Bank 各 Lesson の GET では、ジャンルごとに基礎的な語句を導入し、単独で学習するほか、Practice の活動を通して、定着を図ります。 ■ Words 本文中の新出の語、連語、慣用表現、短縮形を提示しています。単語については「1200 語程度の語」を破線より上に提示し、その中でさらに重要度の高いもの(600 語)については太字で示しました。 ● Words & Sounds 音を楽しみながら基本的な単語、語句をジャンルごとに導入します。(1 年のみ) ◎ 単語の意味 本文中に出現する語彙について、ABC 順に示し、発音記号・意味・その他の解説を提示しています。 ◎ いろいろな単語 言語活動の際に生徒が適宜参照する補充語彙リストを掲載しています。 ◎ 会話表現 相づちやつなぎ言葉など、会話を円滑にすすめるための表現のリストを掲載しています。 	<p>ウ語、連語、及び慣用表現</p> <p>3 指導計画の作成と内容の取扱い (1)(1)ウ、オ</p>
文法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文法のとらえ 各 Lesson 配当の文法・文構造を、解説と図によってふり返ります。 ■ Review 既習の関連のある文法事項をまとめ、解説と図によってふり返ります。 ◎ 絵でわかる英語のしくみ Review では扱い切れなかった文法事項や、英語の発想法などを日本語との違いを意識しながら、図をふんだんに使いながら解説。 ◎ 基本文のとらえ 各学年の基本文のチェック欄付きリストを掲載しています。 * 各 Lesson に配当された言語材料は、Point 欄に提示され、段階的に配列された言語活動(Drill, Practice, USE)の中で実際に使っていきます。特に Practice や USE においては、実際のコミュニケーションを体験しながら学習事項が定着するように配慮しました。 	<p>エ 文法事項</p>
題材	<ul style="list-style-type: none"> * GET, USE Read, Let's Talk, Let's Read などの本文、および USE Speak, USE Write, Project などの言語活動においては、生徒の発達段階および興味・関心に即した題材を配置しています。 * 各学年に①学び、②ことば、③日本文化、④異文化、⑤自然理解・防災、⑥社会理解、⑦人間理解の7つの領域をバランスよく配置しました。 * 形式は、対話、スピーチ、インタビュー、Eメール、日記、ディスカッション、ドラマ、(新聞・雑誌・ウェブの)記事など変化をもたせました。 * 場面は主として日本としました。 * 登場人物の出身国は、日本、英語圏、その他の国をバランスよく配置しました。 	<p>3 指導計画の作成と内容の取扱い(2)</p>
小中接続	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Get Ready 小学校の外国語活動で触れた内容をふり返り、中学校の英語学習内容への橋渡しをします。 ■ 1 年 Lesson1~3 小学校で慣れ親しんだ聞く活動から導入し、理解から表現、音声から文字の流れの中で、読む・話す・書く活動を展開します。 	<p>言語活動の取扱い イ</p>
自律学習	<ul style="list-style-type: none"> ■ とびら 各 Lesson のはじめには、とびらを配置し、その Lesson で扱っている題材や学習事項を確認し(この課で学ぶこと)、学習の見通しが立てられるようにしています。 ● For Self-study 辞書の引き方や単語の覚え方など、英語の学習の仕方に関するヒントを提示し、生徒の自律的な学習を促します。 ◎ もくじ、この教科書の使い方 1 年間の学習及び各単元の学習を視覚的にとらえられるように工夫し、計画的な学習を促します ◎ What Can I Do? この教科書を使って 1 年間学習する中で、英語でできるようになってほしいことをリスト化しています。生徒がセルフチェックし、習得できていないときは再度学べるようになっています。 	<p>3 指導計画の作成と内容の取扱い (1)(1)カ</p>

(別記) カリキュラム表

L=Lesson, GR=Get Ready, W&S=Words & Sounds, LT=Let's Talk, LL=Let's Listen, P=Project, LR=Let's Read, FS=For Self-study

第1学年 新出単語数(572), 年間配当時間(95)

※「付録」は配当時間外

◎=USE で扱う主な技能

セクション		主な言語材料	題材/場面	働き	L	S	R	W	配当時間
GR	Get Ready 1-5	基本表現, 単語, アルファベット, 発音とつづり	自己紹介など		○	○	○	○	6
L1	I Am Tanaka Kumi	I am /You are ~.(肯定, 疑問, 否定)	あいさつ・自己紹介	説明する・質問する・聞き直す	○	○	○	○	3
W&S1	数字	語彙(数字)			○	○			1
LT1	すみません	I'm sorry.	日常生活	謝る・相手の状態を確認する・あいさつをする	○	○			1
L2	My School	This is ~.(肯定, 疑問, 否定) / What is this? / He/She is ~.(肯定, 疑問, 否定)	学校案内	説明する・質問する	○	○	○	○	3
W&S2	曜日と教科	語彙(曜日と教科)			○	○			1
LT2	今, 何時?	What time is it?	家庭生活	時刻をたずねる・説明する・あいさつをする	○	○			1
L3	I Like Soccer	I play ~.(肯定, 疑問, 否定) / What do you have ~?	好きなこと	説明する・質問する	○	○	○	○	3
W&S3	1日の生活	語彙(1日の生活を表すことば)			○	○			1
LT3	どこにありますか	Where is ~?	日常生活	場所をたずねる・説明する・呼び掛ける・聞き直す・礼を言う	○	○			1
	Lesson 1~3 文法のまとめ								1
P1	自己紹介をしよう		自己紹介	説明する・質問する・発表する	○	○	○	○	2
	発音とつづり								1
L4	Field Trip	複数形 / How many~? / 命令文	校外学習	説明する・質問する・依頼する	○	○	○	○	7
W&S4	季節と月	語彙(季節と月)			○	○			1
LL1	店の音声案内		電話(音声案内)		○				1
LT4	買い物しよう	How much ~?	買物	値段をたずねる・説明する・差し出したものを説明する	○	○			1
L5	Our New Friend	Who is ~? / him/her / When/Where do you ~?	新しいクラスメート	質問する・説明する・招待する	○	○	○	○	7
W&S5	色と大きさ	語彙(色と大きさを表すことば)			○	○			1
LL2	先生へのインタビュー		インタビュー		○				1
LT5	これだれの?	Whose ~ is this?	学校生活	持ち主をたずねる・説明する・礼を言う	○	○			1
L6	My Family	3人称単数現在形(肯定, 疑問, 否定)	イギリスの文化	説明する・質問する	○	○	○	○	7
W&S6	いろいろな場所	語彙(場所を表すことば)			○	○			1
LL3	先生からのお知らせ		学校生活		○				1
LT6	お昼ごはんを食べよう	Which ~, A or B?	食事	好みをたずねる・同じ質問を相手に返す	○	○			1
P2	友達にインタビューをしよう		他者紹介	質問する・描写する	○	○		○	2
FS1	英和辞書を引いてみよう								1
L7	Sports for Everyone	助動詞 can (肯定, 疑問, 否定)	いろいろなスポーツ	説明する・質問する・相づちをうつ	○	◎	◎	○	8
LL4	テレビ番組		テレビ番組		○				1
LT7	電話をしよう	Can you ~?	電話での応答	依頼する・承諾する・断る	○	○			1
L8	School Life in the USA	現在進行形 (肯定, 疑問, 否定)	外国の中学校生活	説明する・質問する・描写する	○	◎	◎	○	8
LL5	ナディムからのビデオレター		ビデオレター		○				1
LT8	公園に行こう	How can we go to ~?	旅行	交通手段をたずねる・説明する・提案する	○	○			1
L9	Four Seasons	過去形《一般動詞》(肯定, 疑問, 否定)	日本の身近な年中行事	説明する・質問する	○	○	◎	◎	9
LL6	英語で昔話		日本の昔話		○				1
LT9	どうして好きなの?	Why ~?	音楽	理由をたずねる・説明する・賛成する	○	○			1
FS2	単語を覚えよう								1
P3	大切なものを紹介しよう		大切なもの紹介	説明する・描写する・発表する	○	○		○	2
LR	Alice and Humpty Dumpty		物語(アリス)				○		3

第2学年 新出単語数(390), 年間配当時間(99)

セクション		主な言語材料	題材/場面	働き	L	S	R	W	配当時間
L1	Aloha!	過去形《一般動詞》(復習)	ハワイの伝統文化	説明する・質問する	○	◎	◎	○	4
LT1	道案内をしよう	How can I get to ~?	道案内	交通手段をたずねる・説明する・相づちをうつ・あいさつをする	○	○			1
L2	Peter Rabbit	過去形《be 動詞》(肯定, 疑問, 否定) / 過去進行形・接続詞 when	物語 (ピーターラビット)	説明する・描写する	○	◎	◎	○	9
LL1	テレビニュース		ニュース		○				1
LT2	もし雨が降ったら	If it's clear, ~.	日常生活	場合に分けて説明する・相づちをうつ	○	○			1

L3	The Ogasawara Islands	未来を表す表現(will, be going to)/接続詞 that	自然環境・世界遺産	説明する・質問する・約束する	○	○	◎	◎	11
LL2	世界の天気予報		天気予報		○				1
LT3	避難訓練	We must ~./ We must not ~.	安全教育/学校生活	しなければならないこと, してはいけないことを説明する・確認する	○	○			1
P1	有名人を紹介しよう		人物紹介	説明する・質問する・描写する	○	○		○	2
FS1	英和・和英辞書を活用しよう								1
L4	Enjoy Sushi	There is [are] ~./動名詞	日本の食文化	説明する・質問する・描写する	○	◎	◎	○	8
LL3	観光案内		旅行		○				1
LT4	宿題は何?	We have to ~.	学校生活	しなければならないことを説明する・間をつなぐ	○	○			1
LR1	A Pot of Poison		とんち				○		4
L5	Uluru	動詞(give など)+A+B, 動詞(look など)+A	旅の楽しさと地域文化	説明する・描写する	○	○	◎	◎	9
LL4	空港・機内のアナウンス		アナウンス		○				1
LT 5	もっといただけますか	May I ~?	食事	許可を求める・承諾する・食べ物をすすめる・褒める	○	○			1
L6	My Dream	不定詞(名詞用法, 副詞用法, 形容詞用法)	自分の将来像, 将来の夢	説明する・発表する	○	○	◎	◎	9
LL5	留守番電話のメッセージ		電話(留守番電話)		○				1
LT6	電話をしよう	Will you ~, please?	電話での応答	依頼する・承諾する・謝る・約束する	○	○			1
P2	自分の夢を紹介しよう		将来の夢	説明する・発表する	○	○		○	2
FS2	いろいろな英語学習法								1
L7	Presentation	比較級, 最上級(形・副), as ~ as ...	調査結果のプレゼン	説明する・描写する・発表する	○	◎	◎	○	11
LL6	新作ロボットのプレゼンテーション		プレゼンテーション		○				1
L8	India, My Country	受け身形	インドの言語と文化	説明する・質問する	○	○	◎	◎	9
LT7	買い物をしよう	This shirt is too ~.	買物	苦情を言う・提案する	○	○			1
P3	自分の町を紹介しよう		町紹介	説明する・描写する	○	○	○	○	2
LR2	Landmines and Aki Ra		平和				○		4

第3学年 新出単語数(270), 年間配当時間(92)

セクション		主な言語材料	題材/場面	働き	L	S	R	W	配当時間
L1	My Favorite Words	受け身形(復習)	ことばの持つ力	説明する・発表する	○	◎	◎	○	4
LT1	道案内をしよう	Could you tell me how to get to ~?	道案内	道順をたずねる・説明する・呼び掛ける・繰り返す	○	○			1
L2	France - Then and Now	現在完了形(継続用法)	日仏の文化交流	説明する・質問する・褒める	○	○	◎	◎	9
LL1	動物園のアナウンス		アナウンス		○				1
LT2	どうかしましたか	What's wrong?	日常生活	病状をたずねる・説明する・提案する・礼を言う	○	○			1
L3	Rakugo Goes Overseas	現在完了形(完了用法, 経験用法)	日本の伝統文化の発信	説明する・質問する・褒める	○	◎	◎	○	8
P1	先生にインタビューをしよう		インタビュー	質問する・報告する	○	○		○	2
LL2	英語落語『時そば』		落語		○				1
L4	The Story of Sadako	動詞(call/make など)+A+B / It ~ (for A) to...	広島原爆・平和	説明する・意見を言う	○	○	◎	◎	9
LL3	テレビニュース		ニュース		○				1
LT3	買い物をしよう	Would you ~?	買物	ていねいに依頼する・申し出る・承諾する	○	○			1
LR1	Dolphin Tale		物語(生命の尊重)				○		4
L5	Places to Go, Things to Do	関係代名詞(主格, 目的格)	世界のさまざまな地域	説明する・描写する	○	◎	◎	○	12
LL4	旅行案内		旅行		○				1
FS1	単語の世界を広げよう								1
L6	I Have a Dream	後置修飾(分詞, 接飾)	アメリカの公民権運動	説明する・意見を言う	○	○	◎	◎	10
LL5	英語のスピーチ		有名なスピーチ		○				1
LT4	玉子料理はいかがですか	Would you like ~?	食事	食べ物や飲み物をていねいにすすめる・承諾する・断る	○	○			1
P2	日本文化を紹介しよう		日本文化紹介	説明する・発表する	○	○		○	2
FS2	教科書の外で英語に触れよう								1
L7	English for Me	want + A + to ~ / 間接疑問	英語を学ぶ意義	説明する・意見を言う	○	◎	◎	○	9
LT5	電話をしよう	Could you ~?	電話での応答	ていねいに依頼する・承諾する・確認する・約束する	○	○			1
LL6	英語の歌		歌		○				1
P3	ディスカッションをしよう		ディスカッション	意見を言う・賛成する・反対する	○	○			2
LR2	We Can Change Our World		創意工夫・社会貢献				○		4
LR3	The Story of Nishikori Kei		人物理解				○		4

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-21	中学校	外国語	英語	1年, 2年, 3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	730 英語 830 930	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1・2・3		

<第3学年>

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や取扱いに示す事項
77	In a nation where ~ (p.76, l.3) where から後の英語が前の a nation を説明していて、「~であるような国」という意味になる。	2	2 内容 (3)言語材料 エ 文法事項 (ウ) 代名詞 b 関係代名詞
111	Make your dreams come true. (l.13) 「夢を実現させよう。」<make + A + 動詞の原形>の形で、「A に~させる」という意味になる。	2	2 内容 (3)言語材料 エ 文法事項 (イ) 文構造 e[主語+動詞+目的語+補語]のうち, (a) 主語+動詞+目的語+{名詞, 形容詞}

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 2ページ)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上, 隣接した後の学年等の学習内容 (隣接した学年等以外の学習内容であっても, 当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む) とされている内容
- 2…学習指導要領上, どの学年等でも扱うこととされていない内容